

36. 農業就業人口等に占める女性の割合の推移

(単位:千人, %)

年	1970	1975	1980	1985	1990	1995	1999	2000
農家人口	26,595	23,197	21,366	19,839	17,296	12,037	11,011	10,467
うち女性	13,739	11,955	10,966	10,177	8,875	6,158	5,636	5,338
女性の割合	(51.7)	(51.5)	(51.3)	(51.3)	(51.3)	(51.2)	(51.2)	(51.0)
農業就業人口	10,352	7,907	6,973	6,363	5,653	4,140	3,845	3,891
うち女性	6,337	4,932	4,300	3,885	3,403	2,372	2,176	2,171
女性の割合	(61.2)	(62.4)	(61.7)	(61.1)	(60.2)	(57.3)	(56.6)	(55.8)
基幹的農業従事者数	7,109	4,889	4,128	3,696	3,127	2,560	2,336	2,400
うち女性	3,857	2,591	2,092	1,826	1,505	1,188	1,083	1,140
女性の割合	(54.3)	(53.0)	(50.7)	(49.4)	(48.1)	(46.4)	(46.4)	(47.5)

農林水産省調べ

- (注) 1. 農業就業人口とは、16歳以上の世帯員(平成7年以降は15歳以上の世帯員)で、
 自営農業だけに従事した者と、自営農業とその他の仕事の両方に従事した者のうち
 農業が主である者の合計をいう。
2. 基幹的農業従事者とは、農業就業人口のうち、普段の就業形態が「仕事の主」であ
 る世帯員をいう。
3. 1990年以降の農家人口は世界農林業センサスの農家の定義による数値である。
4. 1996年以降は販売農家の数値である。